

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月10日更新

事務事業名		特定空家対策事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	18	住環境の充実			所属課	安全安心課	担当者名	三谷 三恵
	施策の柱	56	環境衛生の充実			所属班	交通防犯対策班	(内線)	1243
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 11796	根拠法令	空家等対策の推進に関する特別措置法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 3 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、管理不全となっている空家に対する管理指導等を行う。また、特定空家と判定された物件所有者等に対する行政指導及び行政手続き並びに行政代執行法に基づく代執行を実施することにより、住環境の維持保全を図る。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家所在地での現地調査、空家所有者等への管理指導の実施</li> <li>特定空家候補の専門家調査委託、契約、検査、支払い</li> <li>空家特措法に基づく段階的な行政指導の実施</li> <li>行政代執行実施時における家屋調査、工事契約事務、検査、支払い</li> <li>行政代執行実施時における所有者等への費用請求、徴収業務</li> </ul>
【主な予算費目】	役員費、業務委託料、工事請負費
【意見や要望】	空家の近隣住民から防犯・防災上の観点から適正管理を求める要望が毎年上がっている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	特定空家等判定にかかる現地調査業務委託により、9件の特定空家候補の専門家調査を行い、6件を特定空家と認定した。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) R4年3月に合志市空家等対策計画の改定(都市計画課策定)があり、計画に沿った空家対策を実施する。前年度に新たに認定した特定空家6件に対し、指導等を行い改善措置を促す。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 → ア: 適正管理指導件数 イ: 行政指導件数	予算の主な増減の理由 特定空家判定に係る専門家調査業務委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市空家等対策計画による空家件数	(単位) 件 → ア: 空家の数 イ:	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 空家を適正な維持管理が行われるよう促す	(単位) 件 → ア: 改善措置された空家の数 イ:	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠 空家の適正な維持管理がなされることによって安全安心な住環境が整備される		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア 件		14	10	33	15	15	15	15	
	イ 件		1	1	0	1	1	1	1	
② 対象指標	ア 件		284	200	391	200	200	200	200	
	イ 件									
③ 成果指標	ア 件		1	10	1	10	10	10	10	
	イ 件									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	3,805	10	325	289	289	289	289
		(A) 事業費計	千円	3,805	10	325	289	289	289	289
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	3	2	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	100	300	490	300	300	300	300		
(B) 人件費計	千円	391	1,195	1,864	1,195	1,195	1,195	1,195		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,196	1,205	2,189	1,484	1,484	1,484	1,484		

事務事業名	特定空家対策事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 行政代執行を行った特定空家1件について、代執行費用の徴収に関して差押・換価処分を行った。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 令和4年3月に合志市空家等対策計画の改定（都市計画課策定）がっており計画に沿った対策を行う。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 行政指導により空家の適正管理が行われることにより成果向上の余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 法に基づき市が行う事業であり他の事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業に必要な郵便費用や調査・工事費であり削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員で事務を行っており削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市全域の空家が対象であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 空家の適正管理は法に定める市の責務であり役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

令和4年3月に合志市空家等対策計画の改定（都市計画課策定）がっており計画に沿った対策を行う。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						